



生涯学習のまち蕨の 更なる発展に向けて

蕨市は、中山道の宿場町として栄えた歴史や成年式発祥の地であることなど、歴史文化コミュニティが豊かなまちであり、同時に、利便性の高いまちとして発展してまいりました。

平成26年3月に策定した「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンは、蕨のこうした特徴を活かして、まちの将来像「安心とにぎわい みんなにアタタかい 日本一のコンパクトシティ蕨」を目指すもので、現在、その実現に向けて、市民の皆さんとの協働のまちづくりを進めているところです。

さて、生涯学習は、市民の皆さんが生涯わたり自らの興味関心に沿って学び、教養を深めるとともに、学びを通じて地域のつながりを広げ、学んだことをまちづくりに活かすことも期待されています。

蕨市は、日本一小さな市域面積に7つの公民館があり、これまで活発な生涯学習が取り組まれ、それが、まちの魅力であるとともに市政発展の最大の原動力となってきました。蕨市の公民館が、平成23年度から26年度まで4年連続で文部科学大臣から優良公民館の表彰を受賞し、平成13年度の受賞と合わせて、5つの公民館が受賞することができたことは、こうした活動が評価されたものと大変うれしく思います。また、スポーツやレクリエーション活動も活発であり、近年、市民の健康づくりや地域の活性化を進める上でも重要な役割を果たしています。

このたび策定いたしました「第3次蕨市生涯学習推進計画」は、将来ビジョンの分野別計画として位置づけられたものでありますが、歴史ある蕨の生涯学習、生涯スポーツの更なる発展を目指すものであり、特に“学びのきっかけづくり”と“学びを活かす仕組みづくり”に重点を置いています。それは、将来ビジョンの実現には、蕨の生涯学習や生涯スポーツの輪を更にもうひと回り広げるとともに、防災や介護をはじめ、現代的な課題に応えた生涯学習をさらに充実させ、まちづくりに活かすことが求められているからです。また、それが蕨の更なる魅力の向上につながるものと考えています。

本計画が市民の皆さんの学習活動を支え、その成果がまちづくりに活かされることで、「蕨に住んでよかった」と笑顔になれる、そんな日本一住みやすいまちを目指してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました多くの皆様に心から感謝を申し上げますとともに、本計画の推進になお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます、発行のごあいさつといたします。

平成27年3月

蕨市長 頼高英雄